

P3;TRIO AFTER



テレビで巖戸台分寮の
当時●歳の月光学園の生徒達が
謎の失踪から10年という特集で
司会者が失踪者の名前を
次々と挙げる中
私の名前「岳羽ゆかり」を
呼ぶ事はありませんでした

それは私を拉致した男性が
政治界に顔を活かせる資産家で
報道・●察等を買収した為です
そこまでの目的は
私に自分の子供を
「産ませる」ことでした

For Adult Only

P3;TRIO AFTER
SLAVE ver1.5
END

～ 奥 村 ～

発行人：だらぶち堂
だらぶち

印刷所：ねこのしっぽ 様

E-mail: darabuch@qj9.so-net.ne.jp

U R L : <http://darabuchi.iinaa.net/>

18歳未満は閲覧購入禁止

口から溢れ出した精液を
指ですくい舐め終えると
濡れたマン肉を押し広げた
愛液でてらてらと光る
黒オマンコが男を誘う

「おじ様の精子の数が
減る前にゆかりの子宮に
出して下さい」

「なにより今日は
排卵日で妊娠に
一番いい日
なんですからよ」

「そっかそっか
妊娠日和だったか
なら確実に孕ませて
あげないとな」



「あひいん！
バキバキのチンポ
きてるう！」

腰をぐっと掴み
子宮口まで一気に
チンポをねじ込ませた

「挿れられただけで
いっちゃいそうですう！」

「あッあッ！
ふつとくて長くて
素敵いい！」

「はっはっは
相変わらず敏感で
よく絞まるオマンコだね」

「おじ様のチンポ
最高ですうっ！
コレがないと生きて
いけないのおお！」

ピストン運動は更に
激しさを増しベッドが
ギシギシときしむ

「あひいん！そこお！
そこを突かれちゃうと
頭の中が真っ白になっちゃうう！」



！数カ月後！

「おじ様遅いですよ！
子供達をメイドさんに預けて
二人だけの夜なのに！」

「ごめんごめん」

ゆかりの腹は
誰が見ても妊娠していると
分かるほど腹が膨らんでいた

腹の中にいるのは
もちろんゆかりの目の前にいる
男の子で今回の妊娠で
13人目となり
男4人女9人の母となる

「遅れた詞として
今日は寝かせませんから
覚悟して下さいね」

ほてん

小悪魔的な笑みを
浮かべながらポテ腹を
男に押し付ける

「ふふっこれからする事に
赤ちゃんが期待して
お腹を臑つてるの分かります？」

「もちろん分かるさ
この子もゆかりちゃんに似た
淫乱で可愛い女の子に
なるんだろうね」

「ふあちゅう
そうなりますよ
まじっ」



「ぶあつっ
オマコがかき
回されてるのお」

「ちよつと触つただけで
もうヌルヌルじゃないか」

「おじ様が私の
弱い所知り尽くしてるから
ですよ！もおー！」

ムキになったゆかりは
その手からするりと逃れ
男のペニスを口に頬張った

「弱い所を知ってるのは
おじ様だけじゃないんですよ」

長年しゅぶり続け
磨き上げた舌使いはものの数秒で
射精万端の剛直ペニスへと変える

「おちんちんがイキたそうに
フルフルしてますけど
最初の一発はゆかりの膈中で
イッて下さいね」

言葉とは裏腹に
ペニスをしゃぶっていて
我慢しきれなくなり
男をベットに押し倒す

「少しは落ち着いたらどうだい？
妊娠盛りの子じやあるまいし」

男の上にまたがり
ゆっくりと腰を沈ませ
男をくわえ込んで行く

「ゆかりちゃんが
可愛いからつい意地悪したく
なるんだよ」

「ふふっ
分かってますよ
そんなおじ様が私は
大好きです♪」

にゅ
にゅ
にゅ

はあ
はあ
はあ

はあ

ぐ
ぐ

ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ

ガ
フリ

ム
ツ

「欲しくてしょうがないのを
知ってるくせにわざと
そう言うんですから
ほんと意地悪です」

「ふあああッ！
一番奥まで入ったのお！」

出し入れの際に二人の
腹は音を出しぶつかり合
また局部からも同じように
乾いた音で共鳴し合っている

「ババチンポ
すてきー」

「はぁんッー
チンポ気持良すぎて
ミルクが飛び散ってるッー」

カッ
カッ

ビッ
ビッ

カッ
カッ

「どんどん出して
部屋中を甘い匂いで
満たそうか」

その音と母乳を
撒き散らす乳房を
両手で驚掴みにする

ズ
ズ

ズ
ズ

ズ
ズ

ズ
ズ

ズ
ズ

ズ
ズ

「ああん！
噴水みたいに
勢いよくミルクが
出ちゃってるッー」

「うあーひくぅー！
オマンコもマン汁が
たくさん噴き出してるッー」

「体中の分泌液の
排出が止まらないのぉー」

ズ
ズ

ズ
ズ

ズ
ズ

ズ
ズ

ズ
ズ

「んぢゅ！ゆかりちゃんの
ミルクはホント美味しいよ」

毎年妊娠している体は
より効率よく母乳を作るようになり
また味も成分も洗練された
母乳となっていた

「ああためため！
気持ちよすぎて
いっちゃううう！」

「ふあう！乳首
吸われてるううう！」

ちゅ
ぽゅ
ぽゅ

ちゅ
ぽゅ
ぽゅ

ちゅ
ぽゅ
ぽゅ

ちゅ
ぽゅ
ぽゅ

ちゅ
ぽゅ
ぽゅ

「初めて妊娠して
母乳を飲んだ時の
薄味が嘘のようだね」

ズ
ズ
ズ

「お願いおじ様あ！
一緒にい！一緒にい！」

ぽん
ぽん
ぽん

ぽん
ぽん
ぽん

終わりが近づき
乾いた音が
より一層早くなり
ベットが軋む

グ
グ
グ
グ
グ
グ

グ
グ
グ
グ
グ
グ

「よーし！
パパミルクを
受け取れ！」

「ボテ腹がもっと膨れていくのおおお！んひひひひひ！」



「ふふふふふふ〜！あつこのおおお〜！」

その後も繁殖行為は続けられたもし終わりがあるとすれば男の精子が無精子になるかゆかりの排卵が止まるその時まで。。。



三人は終わりは無い

あ と が き

突発本を勢いで作ったよーな皆様の

えっ？あとがきがなんだか読みづら
あとがきなんてどうせ誰も読まない
…ごめんなさい調子にのりました。
とまあこの本はコミック1☆5で
プラスαとして再編集した。SL
P3が映画化と聞いて嬉しくてつい
に嬉しかったのが今までやれなか
ようやくシリーズを完結できそうです。
終わらせたいと思って

それではまたお会い
ではでは～

だらぶちでございます！

いって？
だらうから別にいいじゃない！

オマケ本として配布させて頂いた物に
AVEの後日談的な話となっております。
描いてしまったんやー。だけどそれ以上
ったP3；TRIOの話を描ける機会ができて
ラストはハム子の話+今までの話を収録し
いますのでその時はよろしくです！

しましろう～

